

[パターン7] 実践における知識とそれに基づく技能(判断能力)を確認する出題

(医師国家試験の例)

51歳の男性。息切れを主訴に来院した。3ヶ月前から階段昇降時に息切れを自覚し増悪してきた。弟が35歳で突然死した。意識は清明。身長172cm、体重62Kg。呼吸数24/分、脈拍84/分。血圧104/64mmHg。Ⅲ音を聴取する。呼吸音に異常を認めない。心エコー図(別冊No. 16A、B)を別に示す。

治療薬として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a α 遮断薬
- b β 遮断薬
- c Ca拮抗薬
- d イソピラミド
- e アンジオテンシン変換酵素阻害薬

(薬剤師国家試験出題のイメージ)

高血圧で通院中の38歳男性。2000年10月よりニフェジピン徐放錠(20mg)を1日2錠、朝夕食後服用し、血圧は良好にコントロールされていた。しかし、2003年3月に他院で結核治療のため、イソニアジド錠(100mg)1日3錠、毎食後、リン酸ピリドキサル錠(20mg)1日3錠、毎食後、リファンピシンプセル(150mg)1日3カプセル、毎食前に服用するようになってから、血圧のコントロールが不良となった。

この患者の血圧コントロールを改善するため、ニフェジピンを他剤に変更したい。結核治療は継続しているとして、選択可能な薬物はどれか。

- 1 塩酸プロプラノロール 2 アムロジピン 3 ニトレンジピン 4 カンデサルタンシレキセチル